

生存科学研究ニュース

VOL.13.NO.3 1998.7.10 発行

発行 財団法人 生存科学研究所

〒104-0061 東京都中央区銀座4-5-1 聖書館ビル

電話 03-3563-3518 FAX 03-3567-3608

第1回常務理事会報告

平成10年5月14日午後3時より研究所会議室において、平成10年度第1回常務理事会が開催され、

- 1.平成9年度事業報告のについて、基本報告に加えて補足部分の発言がなされた。
- 2.金融情勢が厳しい状況の下で、本研究所の平成8年度の収支バランスは、比較的順調に推移したことが認められる。本年度からは生存科学研究所の固有会計に加えて、旧バイオサナトロジー学会が生存科学研究会と名称を変えて研究所の事業計画に加わり、既存の21世紀医療システム研究会および川崎病研究会とならんで、今後における研究活動の一層の活発化が期待される。受託事業についても、科学技術庁の指導の下に、研究活動が軌道に乗ったことが認められる。
- 3.新執行部体制については、主として経済上の理由で役員が非常勤という形を続けているため、そのことが業務の執行に支障を来さないよう、常務理事の間の役割分担を明確にし、相互の連絡を密にするなどの工

夫が審議された。その他基本財産の運用替えについての考え方、また役員任期と事務処理上の期間との関係について検討しておく必要があるとの意見があった。

平成10年度 第2回理事会・第1回評議員会報告

平成10年5月26日(火)午後3時から、東京福音館センターにおいて平成10年度第2回理事会ならびに第1回評議員会が開催された。理事会は理事数19名のうち出席者17名(委任状を含む)、評議員会は27名のうち出席者16名(委任状を含む)で本会は有効に成立した。理事会の議長に江見康一理事長が、評議員会の議長に向山定孝評議員が就任し審議が以下のとおり行われた。

1.平成9年度事業報告

平成9年度事業報告および収支決算報告について議長より財政事情の厳しい中、経費節減努力、会員の増加により期首の予算より改善した旨、説明が行われ下記の事業についてそれぞれ説明が行われた。

自主研究

- ①生存科学基礎論研究会

②21世紀医療システム研究会

- ③ 都市型大災害後の復興後期における非
定住学童児の精神的変化と復学支援効
果に関する準備調査研究

協同研究

- ① レオンチェフプロジェクト
② 川崎病研究会
③ バイオサナトロジー学会研究会

受託事業

個人毎の健康度と疾病リスクの解析に関する研究

講演会

生存科学講座

学術誌「生存科学」の発行

2.新執行部体制について

筑井副理事長は、副理事長辞任後も、生存科学研究所と中央大学、パパイオスとの協同研究が今後とも継続される点を考慮し、常務理事として任に当ることになった。

生存科学講座のお知らせ

平成10年度プログラムが下記のとおり決まりました。今年度は、人間関係にテーマを絞りました。

多くの方の参加をお待ちしております。

「人・つながり」

心のゆとりや思想の幅、見方・考え方の多様性をもって、人と人とのつながりをもう一度見直し、共存関係を作る場

第1回 8月8日(土)

会場 : アルカディア市ヶ谷(私学会館)
テーマ : 教育

「教えること・教わること」

講師 : 鳥山 敏子(1:00~2:00)
保坂 展人(2:15~3:15)
フリートーク(3:30~4:00)
司会 : 丸井 英二

第1回講師プロフィール

鳥山 敏子:

宮沢賢治の「雨ニモマケズ」に出会い自分の生きたい姿勢を言語化してもらった。公立小学校の教諭として30年間、教室を『賢治の学校』にすべくさまざまな試みをする。

著書;『居場所のない子供達』『生まれ変わる家族』他

保坂 展人:

中学2年生のときに学校の教育のありかたに疑問をもち、自作の新聞を発行して教師達に問いかける。96年秋より衆議院議員、文教委員、法務委員会に所属。

著書;『いじめの光景』『学校は変わったか』『愛することと働くこと』他

第2回 9月26日(土)

会場 : 東海大学校友会館(霞ヶ関ビル)
テーマ : 看護

「看ること・看られること」

講師 : 川崎 富作(1:00~2:00)
田中とも江(2:15~3:15)
フリートーク(3:30~4:00)
司会 : 豊川 裕之

第3回 11月14日(土)
会場：東海大学校友会館(霞ヶ関ビル)
テーマ：家族
「親子のきずな・夫婦のきずな」
講師：小林 登(1:00~2:00)
春山 満(2:15~3:15)
フリートーク(3:30~4:00)
司会：小島 静二

第4回 平成11年2月6日(土)
会場：如水会館(予定)
テーマ：コミュニティ
「隣人そして福祉へ」
講師：上田 紀行(1:00~2:00)
江見 康一(2:15~3:15)
フリートーク(3:30~4:00)
司会：藤原 成一

聴講料：第1回1000円、第2回以降各2000円
(当日受け付けにてお支払い下さい)
第2回~第4回通し5000円
(第1回の時にお支払い下さい)

参加ご希望の方は、住所、氏名、聴講日
をご記入の上、往復葉書またはファクスで
事務局までお申し込みください。なお、当
日会場でも受け付けいたします。

「武見賞」推薦・応募のご案内

公益信託武見記念生存科学研究基金では、
平成10年度の「武見記念賞」受賞候補者の推
薦、「生存科学研究武見奨励賞」への応募を
下記の要領でお願いしています。

1. 趣旨

故武見太郎博士が創造した生存科学の普
及・発展を計ることを目的に、生存科学と
その関連分野で顕著な業績をあげた方、あ
るいは現にあげつつある研究者または実践

者を顕彰してその業績を称える。

2. 賞の種類

(1)「武見記念賞」

生存科学とその関連分野で、顕著な業
績をあげた研究者または実践者を顕彰す
る賞。受賞者は概ね60歳以上とする。

(2)「生存科学研究武見奨励賞」

生存科学とその関連分野で、創造的な
研究や実践を行ない業績をあげつつある
方を顕彰する賞。

3. 受賞候補者の推薦・応募

前期(1)の賞を受けるに相応しい方を、所
定の「推薦書」用紙に所要事項を記載して、
また、(2)の賞に応募を希望する方は、所定
の「申請書」用紙に所要事項を記載して、下
記事務局へ提出して下さい。なお、外国人
のご推薦・応募はご遠慮願います。

4. 受賞者数・賞金額

「武見記念賞」と「生存科学研究武見奨
励賞」と合わせて2名以内。賞金は一人50
万円。副賞として記念品を贈呈。

5. 受付期間

7月1日から8月31日まで

6. 選考方法

当基金運営委員会で審査し選考する。

7. 選考結果の通知

10月31日までに、受賞候補者・推薦者並
びに申請者に直接通知する。

▼ 事務局

三井信託銀行株式会社

本店営業第一部公益信託室

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-1-1

☎03-3277-7499 (担当：桐田)

空

研究所日報

- 5月14日 第1回生存科学講座委員会
5月26日 平成10年度第2回理事会
平成10年度第1回評議員会
6月22日 21世紀医療システム研究会
6月23日 臨時常務理事会
6月25日 科学技術庁へ事業報告提出
6月26日 川崎病研究会懇話会

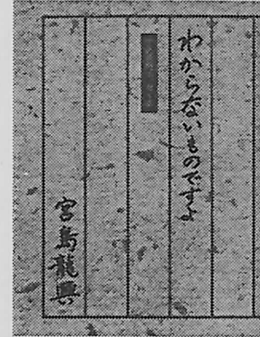
会員移動

新規会員は次の方々です。

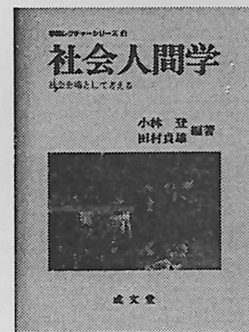
- | | |
|--------|----------------------|
| 青井 輝彦 | 俳優 |
| 青木 新門 | オークス株式会社取締役
相談役 |
| 太田重二郎 | 健康管理センター所長 |
| 大和田幸子 | 栃木県厚生連石橋総合病院
総婦長 |
| 岡田 京子 | 東京都立松沢病院臨床研修医 |
| 桐生 宏司 | 内科研修医 |
| 小門 宏 | 東京工業大学名誉教授 |
| 小林 槇雄 | 東京女子医科大学第1病理
主任教授 |
| 児玉 泰江 | (株)バード・デザインハウス |
| 柴田 高志 | 柴田病院院長 |
| 高橋友美恵 | 臨床心理士会
神奈川県支部役員 |
| 高橋 妙子 | 千葉大学附属病院検査部 |
| 辰巳有紀子 | 聖心女子大学大学院 |
| 谷 善之 | 株式会社三笠会館社長室付 |
| 中村 隆子 | 京都大学大学院人間環境学
研究科 |
| 西 三郎 | 田原町立福祉専門学校校長 |
| 日高 敏隆 | 滋賀県立大学学長 |
| 藤原 成一 | 日本大学芸術学部教授 |
| 別華 薫 | 京都大学総合人間学部教 |
| 保崎 秀夫 | 常盤大学人間科学部教授 |
| 牧野 総太郎 | 串耳鼻咽喉科院長 |

- | | |
|-------|---------------------|
| 松岡 緑 | 佐賀医科大学医学部
看護学科教授 |
| 山下 和彦 | 三原山下内科院長 |
| 山本 宥政 | 真言宗智山派富福寺住職 |

会員寄贈図書



宮島 龍興エッセイ集
わからないものですよ
宮島 龍興 著
財) 日本教育工学研究会 発行
非売品



社会人間学
-社会を場として考える-
小林登・田村貞雄共著
成文堂 発行
定価 2500円+税